



Town Rikubetsu

りくべつ

Public Information No.637

2014

4

平成26年



～今月の表紙～

「りくべつ低温殺菌牛乳」初公開

陸別小学校、中学校のミルク給食に「りくべつ低温殺菌牛乳」が登場。みんなでおいしく飲みました。（3月19日）

- ◆平成26年度町政執行方針
- ◆平成26年度教育行政執行方針
- ◆平成25年度教育振興賞

地域の絆と知恵を活かした「安全・安心なまちづくり」

平成26年度 町政執行方針

平成26年3月定例議会において示されました「平成26年度町政執行方針」の概要をお知らせします。



執行方針を述べる金澤町長

平成26年陸別町議会3月定例会の開会にあたり、町政執行について私の所信を申し上げ、町議会の皆さん、町民の皆さんに、町政全般への更なるご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成26年度基本方針

私は、当町が直面している、人口の減少・雇用問題・高齢化を見据えた安全で安心なまちづくりや、酪農業や林業などを基幹産業とする当町の存

平成26年度予算編成の概要

国の地方財政計画等の動向を見極めながら、前年度の予算と比較して、地方交付税を約3.32%増額した21億5,730万円を計上。臨時財政対策債につきましては、平成25年度当初予算額と比較し、10%減額の1億3,500万円を計上いたしました。

また、消費税率の引き上げに伴う地域経済への影響も懸念されるところです。このように直面する課題を的確に対応するために、陸別の豊かな自然環境の象徴である「空・森・土」、地域の資源や特性を活かしたまちづくりを効果的に展開し、すべての町民の皆さんと職員が「絆」を持ち、明るく、笑顔の中で「うるおいあふれる」、「ぎらり☆ひかる町」に向けて取り組みますので、ご理解とご協力をお願いするものであります。

いたしました。

平成26年度主要事業

ホームページの改修

陸別の情報を発信しているホームページは、平成21年2月にリニューアルしてから5年が経過しており、情報発信量の増加など時代のニーズに対応した魅力あるホームページにするために、必要な経費を計上しました。

地域経済の活性化と雇用の創出

地域経済の活性化と雇用の創出を図るため、地域活性化推進専門員のもと、昨年度はミネラルウォーターのボトルのデザインなどの一部を修正のうえ、試供品を製造し、町内販売を試験的に行ったところであります。今年度は町内販売、町外への販路拡大を目指して参ります。

なお、「陸別百恋水」は特許庁に商標登録いたしました。

また、地域おこし協力隊員につきましては、現在の2名体制に加えて、新事業支援推進員1名、酪農支援

推進員2名及び商工支援推進員1名の4名を加えた6名体制で事業の推進を図ります。

りくべつチャレンジ・プロジェクトとして、新たに陸別の寒い気候を利用し、未だ栽培技術が確立されていない薬用植物研究事業に挑戦して参ります。

次に移住体験者の受入体制ですが、昨年度は郊外にある住宅の外構工事を完了させ、長期滞在型移住体験住宅を含む3棟が完備され、より多くの移住体験者が来町し、定住対策として体験者の移住に期待するところですので。

保健福祉関係

本町の高齢化が年々進む中、私は明るく活力に満ちた高齢社会を確立するため、豊富な経験と知識を持った高齢者が活躍する地域づくり、あらゆる世代の方々が、地域において「共生」の意識を持ち、協働しながら地域の実情に応じた、多様な仕組みで支え合い、高齢者等を見守ることのできる地域づくりを進めて参ります。

なお、高齢者等交通費助成事業などを引き続き、必要な予算を計上しました。

子育て支援関係

少子化・核家族化の進行や地域とのつながりが希薄になり、育児の孤立化や、母親の育児負担が増えています。このような社会状況の中、陸別の次代を担う子ども一人ひとりの成長を地域社会全体で応援するため、子育て世帯の負担を地域全体で支援していくことが必要となっています。

中学生までの入院・外来の自己負担分を無料化する子ども医療費助成事業を継続し、安心して子育てができる環境を築いて参ります。

なお、子ども医療費助成事業・重度心身障害者医療費助成事業・ひとり親家庭等医療費助成事業についても必要な経費を計上いたしました。

子育て支援センターには、保育所担当の保育士を配置し、保育ママ利用助成などの各種事業につ

いても従来通り進め、保育サービスの充実を図って参ります。

児童保育所につきましては、利用者の皆さんのニーズに対応できる体制を教育委員会と協議をしながら進めて参ります。

また、教育委員会と連携した保育所での弁当休みの日を設けるための必要な経費を計上いたしました。

障がい者福祉関係

障がいのある人たちが総合的かつ計画的に必要なサービスを利用しながら地域生活が続けられるよう、社会参加の機会を確保し、共生社会を実現するために当町が実施する地域支援事業の充実を図って参ります。

保健事業関係

町民の皆さんに明るく健康な生活を送って頂くため、引き続き各種健診の機会を確保し受診率の向上を図り、疾病の早期発見早期治療につながるよう努め、あらゆる機会を利用して健康についての相談や指導を実施してまいります。

また、インフルエンザのまん延防止のため、予防接種費用は、引き続き18歳未満及び65歳以上の方の無料化のために必要な経費を計上いたしました。

農業関係

2月に開催された、TPP（環太平洋経済連携協定）交渉の閣僚会合で、日本・米国の間で農産物重要5項目を含む関税分野などで意見の隔たりが埋まらず「大筋合意」には、至りませんでした。

今後、米国は関税全廃を再び主張すると思われるが、政府は関税維持を貫き、日本の食の安全を守るよう強く期待するところです。

引き続き商工会・JA・町及び町村会などと連携を強化してTPPの関税撤廃に強く反対して参ります。



畜産担い手育成総合整備事業が平成24年度で完了しましたので、今年度からは、道営草地整備事業の計画を進め、平成27年度の事業採択を目指して参ります。

また、経営安定のための各種資金利子補給事業、新農業人育成事業や優良家畜導入支援事業などの農業施策について必要な経費を計上いたしました。

平成21年度から実施して

います、道営畑地帯総合整備事業「単独営農用水」（第2トラリ地区）は、昨年度4月1日から新しい施設での供用開始を行ない、今年度の完成に向けて継続して参ります。

次に、農畜産物加工研修センター関係であります。

昨年度は、ブランド開発した「りくべつ鹿ジャージャー」の販売、新たな施設整備を行い当町の生乳を活用した「りくべつ低温殺菌牛乳」を誕生させ試験製造を実施いたしました。今年度は「りくべつ低温殺菌牛乳」の試験販売を開始するほか、引き続き地場産品の開発を進めて参ります。

林業関係

森林組合・商工会の林業部会・町の三者で設立した、陸別町林業振興対策検討会で国有林・町有林・民有林の有効活用について協議をして、民有林の伐採後の跡地造林が進んでいない状況から町有林拡大事業として約50ヘクタールの未立木地の現況調査・所有者の意向調査を実施するために必要な経費を計上いたしました。

町有林事業につきましては、国有林分収林、町有林を森林環境保全整備事業の補助事業として整備を進めて参ります。さらに森林整備は地域雇用に大きく寄与しており、町の単独施策であります。民有林造林促進事業への補助制度と雇用促進の制度については、継続して参ります。

森林の保全対策として上陸別地区小規模治山事業に平成24年度から着手しており、今年度の完成を目指すための必要な経費を計上いたしました。

また、新規事業として森林整備に必要な林業専用道敷別線開設工事を本年度

から着工して参ります。
 国、北海道に対しては
 温暖化・治山・治水対策
 としての造林事業の対策
 強化に向けて、強く要請
 活動を行って参ります。

商工業関係

町内商工業者の健全な
 経営及び設備投資のため
 の融資制度、保証料補給
 及び利子補給事業につ
 きましては、経営の安定、
 商工業の振興を図るた
 めに継続して参ります。

商工会が今年度も実施
 するプレミアム商品券発
 行事業につきましては、
 通常の一般分に加えて低
 所得者向けも販売し、よ
 り多くの消費者に喜んで
 いただけるよう必要な経
 費を計上いたしました。

平成21年度から日産自
 動車(株)への支援策として
 実施しています日産自動
 車購入助成事業につきま
 しては、引き続き助成し
 て参ります。

また、平成24年度から
 復活しました太陽光発電
 設置事業につきましては、
 今年度は2戸分の経費を
 計上いたしました。

観光関係

全国規模で知られるよう
 になった本町の資源である
 「しばれ」を活かした観光
 イベントであります。しば
 れフェスティバルは、33回
 目を無事に終了することが
 出来ました。昨年同様に吉
 本興業の「住みますプロジ
 エクト」と連携し、9,0
 00人もの来客者が訪れ、
 陸別のしばれフェスティバ
 ルを体験して頂きました。
 これも、ひとえに実行委員
 会の皆さん、支援・応援を
 いただいた町民の皆さん、
 各関係機関の皆さんのご理
 解とご協力の賜であり、感
 謝と敬意を表したいと思
 います。



次に、観光協会が独自事
 業として取り組んでいる
 「ふるさと銀河線りくべつ
 鉄道まつり」は今年7月に
 6回目を迎えます。今年度
 は、昨年に引き続き2日間
 の日程でイベント開催を予
 定しています。

銀河の森天文台関係

名古屋大学を始めとする
 各研究機関と町における社
 会連携に関する情報交換、
 事業協力及び交流活動を通
 じて、地域振興の推進を図
 って参ります。

また、スタアライトフェ
 スティバルや季節ごとの観
 望会など館長と協議の上、
 各種イベントを企画し、よ
 り多くの来館者が訪れ親しま

れる天文台にして参ります。

消費者対策関係

旅行をめぐるトラブルや
 化粧品による肌の被害など、
 身近な問題を月2回の消費
 者相談窓口を開設し相談業
 務を実施しているところで
 す。今後も消費生活専門相
 談員のもと、消費者の問題
 に対し迅速な対応が取れる
 よう、相談窓口の充実を図
 って参ります。

雇用対策関係

町単独の緊急雇用対策事
 業として、町内季節労働者、
 短期労働者の雇用安定に加
 え、若年層の就業対策とし
 ての経費を引続き計上いた
 しました。

新たに町単独の雇用促進
 事業として、町内の事業所
 等における雇用を促進させ
 るために、必要な経費を計
 上し、定住化・地域の活性
 化を図って参ります。

道路網の整備について

高速道路がいち早く緊急
 交通路として指定され、避
 難、救助、物資輸送などで
 果たした高速道路の役割は

大きく、「命をつなぐ道」
 として高規格幹線道路網の
 整備が必要不可欠でありま
 す。このことから、抜本的
 見直し区間である足寄―小
 利別間51キロメートルの凍
 結解除、事業化している小
 利別―北見間28キロメー
 ルのうち、北見西IC―訓
 子府IC間の12キロメー
 ルは平成26年度供用開始予
 定、小利別―訓子府IC間
 の16キロメートルは平成28
 年度の供用開始を目指し強
 く要望して参ります。

道々津別陸別線の下陸
 別・中陸別・止若地区の危
 険箇所線形改良等につき
 ましては昨年度、事業の一
 部が延期されたことから、
 本年度は止若内橋の架替え
 工事と、一部用地買収をす
 る予定であります。引き続
 き早期完成に向けての要請
 活動を行って参ります。

町道の整備について

元町1号通り改良工事、
 町道東1条2丁目通り他維
 持補修事業などに係る経費
 を計上いたしました。
 試験的に設置しました街
 路灯改修事業のLED街路

灯の結果をもとに、今年度も町道駅前本通り他1路線の街路灯について、LED街路灯を試験的に設置し、電気料などのデータの収集を引き続き行い、今後の事業に活用して参りたいと考えております。

町道等に架かる橋りょうにつきましては、橋りょうの長寿命化修繕計画策定事業により、今年度は若葉橋の実設計費を計上し、平成27年度の着工を目指します。

住宅整備について

町営住宅整備事業につきましては、緑町団地のサッシ改修事業、共栄団地の給湯器更新事業に必要な経費を計上いたしました。

昨年度に引き続き新町団地の建替え事業として2棟8戸に係る解体工事、2棟4戸の実設計費、外構工事に必要な経費を計上いたしました。

河川改修について

北海道が管理する一級河川利別川の河川改修工

事につきましては、町道大誉地薫別線に架かる千歳橋は昨年引き続き、左岸側橋台と橋脚の下部工事を北海道が実施し平成27年度の完成を目指しています。また、市街地につきましては、新町1区の改修工事を昨年度に引き続き北海道が実施します。

なお、当町が管理する普通河川男鹿川など護岸補修工事に必要な経費を計上しました。

消防関係について

昭和62年に購入した水槽付き消防ポンプ自動車の更新、消防広域化に向けた高機能指令センター整備の実設計費など必要な予算を計上いたしました。

防災対策について

昨年の10月16日に発生した大規模停電の教訓から、庁舎横にある書庫の一部を改修し防災備品庫として活用し、防災資材の購入などに必要な経費を計上いたしました。

また、北海道電力㈱に対しては、電力の安定供給の

ため、早期に2回線化に着工するよう引き続き強く要請して参ります。

教育関係

教育委員会の意向に基づき、所要の経費を計上いたしました。

なお、東1条2区、下陸別にある教職員住宅の基本設計及び実施設計に必要な経費を計上いたしました。

学校給食につきましては、平成27年度の供用開始に向けた必要な経費を計上し、教育委員会と協議して進めたいと考えております。

診療所関係

国保寛齋診療所の運営につきましては、前年度当初予算と比較して診療収入が伸びておりますが、収支改善には、今後とも関係職員と一層の努力を重ねて参ります。

町内唯一の医療機関として、町民の皆さんが安心して住み続けるための施設でありますので、今年度におきましては、新たに超音波画像診断装置、X線撮影装置用LCDモニターなどの

医療機器の更新に必要な経費を計上し、今後とも医療体制の確立維持に努めて参ります。



簡易水道事業及び公共下水道事業関係

簡易水道事業においては、町道東1条通り他1路線の配水管路布設替工事、陸別浄水場・陸別配水池の機器更新工事に必要な経費を計上いたしました。

下水道事業は平成9年度から供用開始しており、水洗化率は、87.5パーセントになっております。

また、陸別浄化センター機器更新のために必要な経費を計上いたしました。

なお、平成26年4月1日から消費税率の引き上げに伴い、水道料金及び下水道使用料を改正することといたしました。関係する一部改正条例案を提案しておりますので、ご審議賜りますようお願い申し上げます。

私は、少子高齢化や過疎化、日常生活圏の拡大など難しい局面を迎えることも予想されますが、職員と共に地域の絆と知恵を活かし「安全・安心なまち」実現のために、努力していく所存であります。

議会並びに町民の皆さんの一層のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。平成26年度の町政執行方針といたします。

地域と連携した積極的な教育行政の推進

平成26年度教育行政執行方針



執行方針を述べる石橋教育委員長

すべての日本人が心をひとつにして、日本一寒い町りくべつの元気を全国に届けてまいりたいと思います。

平成26年度基本的方針

今年も、しばれの町りくべつ教育の日のメインスロ―ガン「あいさつ・おもいやり・ありがとう」のもと、家庭、学校、地域との連携を推進し、「家庭は温かく」「学校は楽しく」「地域は明るく」を合言葉にして、本町の恵まれた豊かな自然や、地域の資源を生かした教育行政の推進に努めるとともに、地域活性化に向けて、教育は人づくりを基盤とし、産業振興、保健福祉との連携の強化を図ってまいります。

平成26年度の教育関係予算をご審議いただくに当たり、教育行政の主要な方針を申し上げ、町議会並びに町民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと思います。

2020年東京オリンピックの開催が決まりました。国内には、3年前の東日本大震災及び福島第一原発事故からの復興など課題が山積しておりますが、世界の人々にす

学校の給食事業は、地域の産業振興に寄与し、家庭愛をつなぎ、そして、食の在り方を学ぶ食育を推進する事業であり、子どもたちが郷土の恵みに対して、感謝

の気持ちで育つよう万全を期してまいります。

次に、子どもたちの自主性を尊重し、逞しい陸別の子どもたちの育成に努めてまいります。人格の完成を旨とする教育の原点は、心を育てることです。自他の敬愛と協力を重んずる精神を基本として、すべての施策の執行に当たってまいります。

主要施策の概要

① 学校教育の推進

義務教育においては、社会において自立的に生きる基礎を培い、基本的な資質を養うことを目的としております。

近年、子どもたちの基礎学力の低下やコミュニケーション不足などが指摘されており、今年度も「確かな学力の向上」「豊かな心と健全な体の育成」「信頼される学校づくり」を重点として取り組んでまいります。

「確かな学力の向上」

陸別小学校では、毎日の「朝学習」と「算数科にお

ける複数指導」の実施や、陸別中学校では「数学科の習熟度別学習や複数指導」の取組を継続し、基礎学力の定着を図ってまいります。

また、小中学校ともに、伝える力を育てる言語活動の充実を図ってまいります。あわせて、家庭学習の定着を図るために、「家庭学習の手引き・ガンバリ表」の活用を推進し、学校と家庭との学びの連続性の確保を図り、「早寝、早起き、朝ごはん」の基本的な生活習慣の形成に努めてまいります。

平成26年度全国学力・学習状況調査は、4月22日に実施されますが、子ども一人一人の学習の状況や課題について把握し、さらなる授業及び学校改善に取り組むよう努めてまいります。また、保護者に対しては、調査の結果を踏まえた課題と改善方策及び小・中連携教育の成果と課題などをまとめたリーフレットを作成配布し、現状の理解と改善方策に対する保護者の意見などが反映されるよう努めてまいります。

また、北海道教育委員会が実施しているチャレンジテストには、引き続き参加し活用を図るよう努めてまいります。

特別支援教育の推進については、引き続き関係機関との連携を図り、発達支援専門員の派遣とあわせ、学習支援員を配置してまいります。今年度は、学習支援員1名の増員を図り、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育を推進していくために、所要の予算を計上いたしました。学校支援地域本部事業については、引き続き地域の方々の協力を得て、学校支援活動を行ってまいります。

「豊かな心と健やかな体の育成」

豊かな心とは、自他の敬愛と協力を重んずる心であります。豊かな心を育てるために、道徳の時間を要として全教職員が協力し、学校の教育活動全体に亘り「道徳教育の充実」を図るとともに、道徳の授業公開を実践してまいります。

特に、全面改訂された「心のノート」の計画的な活用を図り、児童生徒自らが気づき、心で感じ取れるなど創意工夫に努めてまいります。

陸別町の児童生徒が取り組むふるさと学習は、地域の方々のご理解とご支援により、多彩な取組が行われ

ております。特に陸別小学校の児童全員が参加するしばれフェスティバルの取組や、陸別中学校が町内の事業所の協力を得て実施をしている職場体験学習をはじめ、酪農体験、乳児保育体験、高齢者との交流など陸別ならではの体験学習活動を実践してまいります。

読書活動については、陸別小学校の朝読書を継続し、読み聞かせを通して読書活動の充実を図ってまいります。

いじめの問題については、「どの学校においても起こりうる」との認識を持ち、日常から「いじめは人間として絶対にゆるされない」という学校の方針を明確に伝えるとともに、教師自身がその想いを子どもたちに示し、特に相手を傷つける可能性のある言葉は、早い段階から使ってはいけないことを教えることが大切なこととあります。

また、学校が児童生徒を守るという信頼関係を築き、教育相談や「アンケート調査」を実施し、早期発見、早期対応を学校全体で取り組み、子どもたちが発するサインを見逃さないきめ細やかな

対応に努めてまいります。

あわせてPTA活動を通して保護者同士の交流を深め、いじめが起らない環境を周囲から築いていくことが重要であり、引き続きこれまでの取組を支援してまいります。

「健やかな体」を育成するために、薬物乱用防止教室の開催や、学校教育全体を通して、食に関する指導の充実にも努めてまいります。

今年度も「弁当休みの日」を実施いたします。また、ミルク給食について、毎月1回当町の生乳を活用した「りくべつ低温殺菌牛乳」を提供することにしてまいります。

学校給食につきましては、平成27年度の供用開始に向けて、「陸別町給食センター（仮称）」の建設に着手いたします。そのため関係予算を計上いたしました。



初めて完全給食を実施するに当たり、建設段階から実用面及び衛生面、食材、献立、調理指導、試運転まで専門知識と経験を有する者の配置が必要ことから、栄養教諭が配置されるまで学校給食の経験のある管理栄養士を採用し、多面的な指導を受けながら安全安心、そして、おいしい給食の提供に向けて努めてまいります。また、運営方法及び維持管理についてもあわせて検討をしてまいります。

児童生徒の体力・運動能力の向上については、新体力テストの取組を継続して実施するとともに、運動やスポーツの楽しさを味わうことができる体育学習の充実が努めてまいります。また、徒歩による登下校の推進によって、陸別の暮らしの中で培われる体力・運動能力が伝承されるよう努めてまいります。

中学校の柔道の授業について、三年目となりますので、技術及び精神面の達成度などを見極め、今年度も安全に十分注意を払いながら進めてまいります。

今年度も町が実施するインフルエンザ予防接種補助制度を児童生徒の保護者や教職員に周知徹底を図り、集

団感染の予防に努めてまいります。

次に、フッ化物洗口についてであります。虫歯の予防にフッ化物の利用があります。フッ化物は虫歯菌が作り出す酸に解けにくい歯質に改善するなどの働きがあり、北海道が全道の学校に奨励しているものです。

平成25年度から保育所の5歳児全員がフッ化物洗口を実施しており、今年度、小学校においても実施する計画であります。

「信頼される学校づくり」

学校は、校長が経営方針に基づき、教師個々の授業力の向上を図るとともに、校内研修を深め、信頼関係を構築し、尊敬される教師を目指し、日々努力を積み重ねていくことが大切であります。

そのために、学校だよりの地域回覧や地域参観日などを引き続き実施するとともに、各種行事や公開教育研究大会などに、地域の方々が参加しやすいよう取り組んでまいります。

また、学校評価の結果の分析及び公表を通して、保護者の思いや願いに応える授業づくり、学校づくりを進めるとともに、保護者や地域住民等に、児童生徒の

成長に合わせた教育課程の指導など学校運営の状況を周知し、地域に開かれた学校づくりを進めてまいります。

学校におけるあらゆる危機管理の対応については、学校独自の危機管理マニュアルの点検と修正を不断に行い、効果的な危機管理体制の確立に努めてまいります。

教員の授業力向上を図る研修については、校内における組織的な研修・研究活動を充実するほか、十勝教育研修センター研修講座等への参加、教育局指導主事の指導を受けながら、資質向上に向けて取り組んでまいります。

また、「体罰」の根絶に向けた取組が進んでおりますが、「体罰」を肯定化するなど誤った指導が行われないよう教職員及び指導者に徹底してまいります。

教職員の服務規律の保持につきましては、機会あるごとに注意を喚起しながら、交通違反や飲酒運転の根絶など不祥事の未然防止について、指導の徹底に努めてまいります。

次に、特色ある教育活動といたしましては、「小・中学校連携教育推進事業」が、平成16年度のスタートから10年を過ぎ、義務教育9年間を見通した教育の研

究と実践の積み重ねが続けられております。

この小・中連携教育の取組については、教職員一人一人の理解と協力のもと、全員が参画して事業を推進しております。

今年度も本町の特性を生かして、学びの連続性を重視した授業実践や小・中学校の合同研修、教育研究大会、そして地域と連携して取り組む特色ある教育活動を推進してまいります。

また、中一ギャップと言われる学習や生活の変化に伴う不登校などの未然防止に向けた小・中連携の取組の充実を進めてまいります。

次に、児童生徒の安全確保についてであります。登下校時における児童生徒の安全確保につきましては、日頃の児童生徒に対する指導を始めとして、「通学路の再確認」や「交通安全教室」を開催して指導の徹底を図っております。

また、小学校においては、校区支援ネットワークの取組を市街地の自治会から登録をいただいております。全国各地で児童生徒の監禁事件などの発生が続いていること

から、引き続き登下校時の街頭指導にご協力をお願いしてまいります。

子どもたちを地域の大人の目で見守り、各関係機関と情報の共有化を図りながら、安全確保に努めてまいります。

次に、学校教材用備品の整備についてであります。昨年度、学校用教材等の整備に対する寄付を賜り、今年度、小・中学校の図書

の充実を図るために、所要の予算を計上いたしました。また、学校関連施設の整備については、小・中学校に導入しているパソコンの基本ソフトのサポート終了に伴う機器の入替について、昨年度は職員室分を整備しております。今年度はパソコン教室分について所要の予算を計上いたしました。

教職員住宅については、老朽化のものから順次用途替えを行い、地域との交流を考慮しながら分散して建設してまいりましたが、教員住宅団地における昭和40年代後半から昭和50年代前半にかけて建設された住宅8棟

12戸の更新を計画的に実施するための基本・実施設計に係る所要の予算を計上いたしました。

給食事業供用開始に伴い、給食配送車の出入口につい

て、小中学校での改修工事を実施するため、所要の予算を計上いたしました。

②社会教育の推進

町民の学習に対する多様な需要を踏まえ、これに適切に対応するため、必要な学習の機会の提供及びその奨励を行うことにより、生涯学習の振興を推進し、町民皆様の協力や行政内の連携を図るとともに、情報の提供を積極的に進めてまいります。

今年度も、第7期陸別町社会教育計画に基づき、社会教育委員との連携を図りながら、学習や文化・スポーツに親しむ機会の提供など社会教育の推進に努めてまいります。第7期陸別町社会教育計画は、平成27年度までの計画となっておりますので、今年度から2力

年かけて第8期陸別町社会教育計画の策定に取り組んでまいります。

今年度は、陸別小学校PTAを中心とした家庭教育学級や、65歳以上を対象としたことぶき学級に、ヒッポポッドダンス教室などの社会教育講座や、公民館講座として施設利用団体のご協力による陶芸教室や押し

花教室など、町民ニーズを的確にとらえ、文化に親し

む機会の提供に努めて、各種講座を開催してまいります。

また、高齢者学びの集い、あつまれ！銀河キッズ・ジュニアリーダー研修会、社会教育委員研修等を実施している十勝東北部社会教育連絡協議会の事業運営に継続参加してまいります。

9月には主に中学校2年生を対象とする「中学生等海外研修派遣事業」、また1月には小学校6年生を対象とする「冒険体感inとうきょう派遣事業」につきま

して、陸別に在住する小学生にとって貴重な体験学習の場となっておりますので、町部局と連携をとりながら今年度も継続して実施してまいります。

今年度、初めて「りくべつ通学合宿」を取り組みます。通学合宿とは、子どもたちが公民館で宿泊し、自炊、掃除、洗濯などの生活体験をしながら通学することによって、生活力、自主性、協調性の向上を目指します。今年度は、将来の長期通学合宿を目指すための実験を兼ねて教育委員会が主催し、2泊3日の日程で実施いたします。

児童保育所指導員設置事業につきましては、働く世代の社会参画などの支援のため、小学1年生から3年

生の児童を対象に保育するものでありますが、今年度は保育時間15分延長と入所希望者が多く見込まれることから指導員の充実を図るよう、所要の予算を計上いたしました。

次に公民館の運営についてであります。

公民館は、図書室・視聴覚室・団体の利用の場として供用しておりますが、限られた空間において、役割は多様化しており、児童生徒の放課後における学びの場としての機能のほか、利用者相互の理解を深めながら、利用者の利便性の向上に努めてまいります。

公民館の改修事業として、吹き抜けホール部分の照明器具をLED化にするため、所要の予算を計上いたしました。

③文化の振興

陸別町における文化芸術分野の活動は、文化祭を始め、「ふるさと劇場」の公演や、町民文芸誌「あかえぞ」の発刊など活発な活動として高い評価を得ております。文化協会の加盟団体や構成員の減少など、次世代への継承が進んでいない現状がありますが、まず、

会員一人一人が生涯にわたって、自分たちの楽しみ方

で続けていける環境を整備してまいります。
また、町民ニーズをくみ上げる機会をつくり、各文化団体、サークル活動に対する活動支援や情報提供を継続してまいります。

④文化財の整備

本町の文化財につきましては、関寛齋をはじめ国史跡ユクエピラチャシ跡や町指定文化財、郷土資料など恵まれており、文化財保護及び歴史を知ることが、未来を描くための活動でありますので、これらの活用に向けた整備を継続してまいります。

史跡ユクエピラチャシ跡につきましては、今年度、入口の誘導サインの製作及びチャシ跡郭外の火山灰盛土の整備を実施してまいります。

今後、関寛齋と連動した活用事業などを模索し、より多くの人に「白いチャシ」に足を運んでいただくことにより、文化財保護の理解が広がるよう努めてまいります。

旧中斗満小学校にある郷土資料につきましては、当町における人々の生活または生業及び風土により形成された欠くこ

とのできない資料で、「収蔵」状態から「展示収蔵」に整備をするため、所要の予算を計上いたしました。必要に応じて公開できるよう努めてまいります。

関寛齋につきましては、平成24年に開催されました関寛齋没後100周年記念事業を契機に、全国の研究者の関心が高まってきており、関寛翁顕彰会のご尽力により市民交流が深まっております。関寛翁最期の地として注目されており、研究・交流活動の中心的な役割を果たしていくよう努めてまいります。

関寛齋資料館につきましては、資料館の周知及び入館案内、展示資料の管理保存、研究者への情報提供など最大限の利用効果が図られるよう、無料期間設定等の調査を進め、改善に努めてまいります。

また、関寛翁顕彰会の活動支援を継続してまいります。

⑤スポーツの振興

スポーツは全ての人が生涯にわたり、心身ともに健康で文化的な生活を営む上で、不可欠なものになっております。あらゆる機会とあらゆる場所において、自立的かつ健康状態に応じて、

スポーツを行うことができるように推進しなければなりません。

当町では、社会体育団体、各種サークル、自治会など地域連携と交流を促進する施策を実行するとともに、町民一人一人が健康で活力ある生活を営むことができるよう、スポーツ施設の適切な維持管理やスポーツを楽しむ機会の提供に努めてまいります。

「町民スポーツレク大会」は、全国的に地域の絆が希薄になっていと言われるなかで、地域の一体感や活力を醸成するものであり、陸別町が誇れる財産のひとつであります。町民が一堂に会し、スポーツレクリエーションを通じて、体力の増強と健康保持・親睦・融和を図ることを目的として、毎年8月に開催しております。

今年度も市街地、農村部をはじめ町民皆様の参加をお願いし、第47回となる大会を開催してまいります。健康で活力に満ちた長寿社会の実現に不可欠であり、町内各自治会の皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。



スポーツを楽しむ機会の提供であります。教育委員会主催の「スポーツの集い」や各体育団体主催のソフトボール、パークゴルフ、ミニバレーなどの各種大会にも幅広く町民が参加して楽しめるよう、各協会と連携、協力を努めながら実施してまいります。

スポーツ施設の維持管理につきましては、夏は町民運動場、パークゴルフ場、プール、冬はスケートリンク、スキー場、年間を通して小・中学校体育館の開放など全ての施設において、限られた施設環境ではありますが、町民皆様に無料でご利用を頂いております。今年度も適切な維持管理と施設運営に努めてまいります。

体育施設の整備につきましては、パークゴルフ場のコース案内板及びホール看板の改修、水泳プールの照明用配管配線修繕のため、所要の予算を計上いたしました。

今年度もスポーツ推進委員や体育連盟・スポーツ少年団、さらには保健福祉センターとの連携を図りながら、町民全員が生涯を通じてスポーツや健康づくりに親しめるよう、その環境を構築してまいります。

また、スポーツ振興基金の果実を運用しながら、スポーツ活動における全国、全道大会出場者及び各種指導者講習会、審判員資格などの助成を継続してまいります。

以上、平成26年度の教育行政の主要な方針について申し上げます。

これからも、家庭、学校、地域や各関係機関と連携を深め、理事者との緊密な連携のもとで、職員一丸となって積極的な教育行政を推進し、町民の付託に応えるよう努めてまいりたいと思っております。

町議会並びに町民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。教育行政執行方針といたします。

平成25年度 陸別町教育振興賞

3月21日 陸別町教育振興賞表彰式が行われ、3団体、28名が受賞されました。受賞者は、次のとおり。※（ ）内は、所属等です。

☆文化奨励賞（生徒部門）

- ◇今野 麻梨さん（陸別中1年）
第56回十勝子ども大会 書道の部 特選



☆文化努力賞（生徒部門）

- ◇佐藤 文香さん（陸別中3年）
中学校の税についての作文
十勝池田間税会会長賞
- ◇小南 菜月さん（陸別中3年）
中学校の税についての作文
十勝池田青色申告会連合会会長賞
- ◇竹島 悠飛さん（陸別中3年）
第56回十勝子ども大会
工芸・彫刻の部 入選
- ◇小川 涼真さん（陸別中2年）
第56回十勝子ども大会
絵画の部 入選
- ◇庄田 奈央さん（陸別中1年）
第56回十勝子ども大会
書道の部 秀作
- ◇丹崎 修斗（陸別中1年）
第56回十勝子ども大会
デザインの部 入選



- ◇大沼 広大さん（陸別中1年）
第45回記念全国学生書道展 優秀作
- ◇本間 莉乃さん（陸別中1年）
第45回記念全国学生書道展 特選
- ◇廣谷 理紗さん（陸別中1年）
第45回記念全国学生書道展 秀作



☆文化努力賞（児童部門）

- ◇陸別リコーダーアンサンブルクラブ
（石橋 玲那さん、佐藤 佳乃さん、佐藤 莉子さん、水間 千夏さん、児玉 果南さん、早田 紫音さん、瀧口八芽美さん、石橋 朱莉さん）
第28回全道リコーダーコンテスト 銀賞



- ◇鈴木 朋華さん（陸別小6年）
第81回全国書画展覧会
書写の部 金賞
- ◇大島 陸翔さん（友の会）
第44回全道書道コンクール
硬筆部 秀作
- ◇北村 隆弥さん（郷墨会）
第45回記念全国学生書道展 優秀作
- ◇遠藤 怜太郎さん（郷墨会）
第45回記念全国学生書道展 優秀作
- ◇豊田 希龍さん（郷墨会）
第45回記念全国学生書道展 秀作
- ◇佐藤 響貴さん（友の会）
第44回全道書道コンクール
硬筆部 優秀作
- ◇川初 琉生さん（中村ピアノ教室）
第32回毎日こどもピアノコンクール
帯広地区予選会、小学校一年生の部
特別賞（本選会出場）
- ◇北川 祐希さん（友の会）
第44回全道書道コンクール
毛筆部 特別賞



- ◇新藤 聖紫流さん（友の会）
第44回全道書道コンクール
毛筆部 優秀作
- ◇土屋 杏悟さん（友の会）
第44回全道書道コンクール
毛筆部 優秀作
- ◇横山 心音さん（友の会）
第44回全道書道コンクール
毛筆部 優秀作
- ◇小澤 美羽さん（郷墨会）
第45回記念全国学生書道展 記念賞
- ◇清水 亮寿さん（郷墨会）
第45回記念全国学生書道展 優秀作
- ◇鈴木 瑛太さん（郷墨会）
第45回記念全国学生書道展 秀作



☆スポーツ奨励賞（一般部門）

◇せすん（平井均さん、岡正浩さん、平井久美子さん、小南桂子さん）
2013陸別オーロラ杯ミニバレー交流大会
160歳以上の部 優勝

☆スポーツ努力賞（一般部門）

◇シバレ（大淵誠さん、川初伸司さん、二瓶まどかさん、大淵恵子さん）
2013陸別オーロラ杯ミニバレー交流大会
160歳未満の部 第3位



◇小南 傳信さん（陸別町PG協会）
パークゴルフ場の設営管理をはじめスポーツの普及振興に貢献



☆ジュニアスポーツ奨励賞（児童部門）

◇坂井 未空さん（陸別サッカークラブ少年団）
第3回びわ湖カップなでしこサッカー大会（U-12）北海道代表とちちFCなでしこチームメンバーとして出場

◇多胡 乃姫さん（陸別町空手少年団）
第15回全道空手道選手権大会
小学1・2年生男女 上級の部組手 第3位



☆ジュニアスポーツ努力賞（児童部門）

◇畠野 美優さん（陸別町空手少年団）
第35回十勝地区空手道選手権大会
小学1・2年生女子 形の部 第2位



足寄町・陸別町共同開催
市民後見人養成研修修了式

24名の市民後見人が誕生



平成25年12月21日から始まった市民後見人養成研修は、3月17日に修了式を迎え、陸別町の受講生24名全員が修了証を受け取りました。

市民後見人とは、認知症や精神・知的障がい等の理由で判断能力が不十分な方に代わって、身上監護や財産管理などの後見人活動を行う方のことです。

受講生は、約4ヶ月にわたり、30時間の座学と地域実習（特別養護老人ホームしらかば苑・認知症対応型グループホームゆうの里での施設実習、後見人の普及啓発に関するグループワーク等）を行いました。

「最後まで続けられるかな…」と言っていた方もいましたが、周りの励ましもあり、無事に修了式を迎えることができました。

最初は「自分のため」と受講した方が多かったのですが、修了式では「地域のためにできることをしていきたい」と話していた方が多く、このような気持ち・知識を持った方が地域に24名も誕生したことは、陸別町の権利擁護を一緒に考えていく上でとても心強く思います。

今後の活動については、現在事務局において検討中ですが、フォロアップ研修等で受講生の繋がりを大切にしながら、継続して学習していく予定です。



りくべつ宇宙地球科学館 足寄動物化石博物館

共通割引券を発行

包括連携に関する協定を締結



りくべつ宇宙地球科学館（上出洋介館長）、足寄動物化石博物館（澤村寛館長）により、両館の包括連携に関する協定が締結され、平成26年3月20日協定書が交わされました。

りくべつ宇宙地球科学館と足寄動物化石博物館は、ともに1998年に開館し、現在まで多くの人に先端的な研究成果や、自然科学に対する魅力や面白さを伝え、科学館の役割を担ってまいりました。

包括的連携をすることにより、地域振興・教育振興・人材育成及び学術文化の向上発展など多くの分野で役立つことが期待できます。

両館では、2館相互優待券（共通割引券）の発行を実施します。ご利用される方はお問い合わせください。

※お問い合わせ
銀河の森天文台
27-8100

農協功労者表彰を受賞



陸別町農協の西岡悦夫代表理事組合長が、平成25年度北海道農協功労者表彰を受賞されました。この表彰は、農業の振興、農協の発展に大きく功績のあった農協役員、農協職員などに贈られるものです。受賞について西岡組合長は、「組合員を始め、職員の方のおかげで受賞することができました。これからも更に気を引き締めて様々な問題に取り組むたい」と抱負を語りました。

本別警察署長から感謝状



大平健さん（共栄第2）が交通安全指導員として、長年にわたり交通事故防止の活動に取り組んだ功績に対して、2月27日に本別署の野村泰則署長から感謝状が贈られました。感謝状を手にして大平さんは、「これからもできる限り交通安全指導員として地域のために交通安全活動を続けていきたい」と抱負を語りました。

平成26年度 リクベツミルクの日

| | 申込期限 | りくべつミルクの日 配送・販売日 | 消費期限 |
|-------|-----------|---------------------|-----------|
| 第1回目 | 4月28日(月) | 5月2日(金) | 5月5日(月) |
| 第2回目 | 5月26日(月) | 5月30日(金) | 6月2日(月) |
| 第3回目 | 6月23日(月) | 6月27日(金) | 6月30日(月) |
| 第4回目 | 7月14日(月) | 7月18日(金) | 7月21日(月) |
| 第5回目 | 8月25日(月) | 8月29日(金) | 9月1日(月) |
| 第6回目 | 9月22日(月) | 9月26日(金) | 9月29日(月) |
| 第7回目 | 10月20日(月) | 10月24日(金) | 10月27日(月) |
| 第8回目 | 11月24日(月) | 11月28日(金) | 12月1日(月) |
| 第9回目 | 12月15日(月) | 12月19日(金) | 12月22日(月) |
| 第10回目 | 1月19日(月) | 1月23日(金) | 1月26日(月) |
| 第11回目 | 2月2日(月) | 2月6日(金) | 2月9日(月) |
| 第12回目 | 3月16日(月) | 3月19日(木) | 3月22日(月) |

〈価格〉

大型ボトル(900ml) **450円**

小型ボトル(200ml) **150円**

受注生産となりますので、各種の会議や集会でのご利用もぜひ申込期限までにお問い合わせ願います。

【製造者】

陸別町農畜産物加工研修センター ☎27-2192

「りくべつ低温殺菌牛乳」は、65℃30分間という低温殺菌方法で製造した、ノンホモジナイズ牛乳です。牛乳本来の豊かな風味を味わうことができます。

毎月の牛乳販売日を「りくべつミルクの日」と制定します。基幹産業である酪農業を町ぐるみで応援し、陸別の新たな特産品である、「りくべつ低温殺菌牛乳」を飲みましょう。

月1セットから宅配できますので、ぜひお申し込みください。

町内限定

りくべつ低温殺菌牛乳

購入申込み受付開始

初回販売(5月2日)の申込期限 4月28日

初回申込特典

宅配を申込まれた方に小型ボトルを1本サービス!!

- 宅配事業 1セット 900ml大型ボトルを6回配送いたします。
- 「りくべつミルクの日」の夕方に自宅までお届けします。
- 配送日に不在のときは、次回配送日に先送りとなります。
- 消費期限は製造日を含めて5日となります。
- 配送可能エリアについては、取扱店にご相談ください。
- ご注文状況によっては、配送日が変更になる場合がございます。
- 申込先(取扱店) 大谷牛乳販売店 ☎090-9510-3034

百恋水の商標登録を取得



昨年5月に出願をしていた「陸別百恋水」の商標登録手続きが終了し、商標登録が完了しました。(登録第5648717号)

指定商品又は指定役務並びに商品及び役務の区分は、清涼飲料水(第32類)で、ミネラルウォーター、炭酸水での登録です。

実用新案技術評価で最高評価を取得

Rikubetsu NEWS



三好幸三さん(下陸別)が自身で考案した、「スノーカッター」を特許庁に実用新案登録し、実用新案技術評価で最高評価の「6」(新規性も進歩性もある技術で新案特許とほぼ同様の権利)を取得しました。この「スノーカッター」は、三好さんが屋根の雪おろしの省力化を目的に試行錯誤を重ね、10年以上の歳月をかけて完成させたもので、屋根に上らずに雪おろしを可能とした画期的なものです。



3/20 陸別小学校の第104回卒業式が行われました。卒業式では、卒業生19名がお世話になった先生方ひとり一人に感謝と思い出の言葉を、そして保護者への一言もあり、涙と笑いにあふれた卒業式となりました。



3/4 しばれフェスティバルの命の火で使用する木材が(株)伊豆倉組(帯広市)と松谷建設株(北見市)から提供されました。この日は、その協力に対して町から感謝状が贈呈されました。



3/25 陸別保育所の卒園式が行われ、園児15名が卒園しました。園児は、早坂保育所長から卒園証書を受け取り、元気に将来の夢を発表。感謝の言葉とともに保護者に卒園証書を手渡し卒園を報告しました。



3/8 陸別リコーダーアンサンブルクラブのスプリングコンサート2014がタウンホールで行われました。ゲストにリコーダー講習会の皆さんも加わり、全20曲の美しい音色が会場を包みました。



3/25 毎年恒例の「お年寄りを励ますふれあいの集い」(ボランティアグループひまわり会主催)がタウンホールで行われました。参加者は、できたてのそばを食べながら余興のカラオケを楽しみました。



3/14 陸別中学校の第67回卒業式が行われ、卒業生15名が卒業証書を受け取りました。在校生からの送辞の他、退場時には卒業生から担任の先生への感謝の言葉もあり、3年間の思い出を胸に学舎をあとにしました。

消費生活相談室から

第12回

消費生活
専門相談員
上村正子

〜かみちちゃんです〜

★年間800億円超…眠っている口座、どう生かす★

朝日新聞に大きな見出しでこんな記事が出ていました。(1/31朝刊)一定期間、お金の出し入れがなく、使われていない口座のことを休眠口座と言います。この口座に残されたお金が1年間で800億円を超えるのだそうです。

何かのきっかけで使わなくなった通帳はありますか？じつは私、あったんです。すっかり忘れていた通帳が3冊も！結婚して沖縄に移り住み、その後も連れ合いの転職などで北海道↓鹿児島↓北海道と何度も引越しを繰り返しているうちに、通帳を紛失してしまいました。「正子さんを繰り返しているうちに、通帳を紛失してしまいました。」「正子さん名義の通帳が何冊もありますよ。ひとつにまとめましょうか？」と、銀行の窓口で担当者が声をかけてくれたおかげです。正子名義の通帳が3冊も見つかりました。うれしかったです。親切な窓口担当者に、感謝です。

一般的に、休眠口座に認定されると預金は便宜上、銀行などの利益になると言われています。残高が一万円未満の場合は、通知されないため、多くの人が気づきません。また、名義人が死亡した後、親族が気づかないまま休眠口座になることも多いのです。忘れたり紛失した通帳はありますか？金融機関の窓口で調べてもらうことも可能です。

★マレーシアから英文の手紙が届いた…新たな金融詐欺か★

用心したいのが休眠口座に関する相談です。T町の役場に住民から問合せがありました。「英文の手紙が届いた。英語のわかる人に訳してもらったが、なんだかあやしい話。調べてもらえないか」というものでした。「私はマレーシアの大手銀行の役員です。会計監査をしている時に15年間休眠している口座をみつめました。このままでは、国庫に没収されてしまいます。安全な口座に移すお手伝いをいたします。亡くなった投資家の親族へのお知らせです。お返事をお待ちしています。総資産の20%を分配いたします。マレーシア国内から手紙を出すと妨害されるおそれがあるので、ロンドンの友人に託して投函してもらいました。」それがどうでしょう。みなさんは、どう思われますか？マレーシア国内の話です。現地調査もできません。断定はできませんが、なんだかあやしげな話です。現地調査もできません。断定はできませんが、なんだかお金にまつわる話はくれぐれもご用心下さい。金融機関・役場の窓口などでしっかりと確認することをおすすめします。

消費生活専門相談員による相談窓口は、月2回開設しております。
※詳しくは、くらしのカレンダーでご確認下さい。
※相談員による相談窓口以外にも、役場産業振興課で消費生活相談は随時可能です。

お伝えします 役場の仕事 第13回

今月は、総務課管財防災担当についてお伝えします。

▼管財防災担当は役場庁舎二階にあり、次のような業務を行っております。▼町が所有する土地・建物などの財産の管理があります。町の財産を有効活用するために、貸付や売却、必要に応じ財産の取得などを行っております。▼福祉館の管理があります。福祉館は市街地2箇所・郊外6箇所の計8箇所あり、町民の皆様が町内会活動や団体活動の際にご利用いただいております。▼バスの運行管理があります。現在スクールバスを4路線・1日3便運行しており、小中学生や高齢者の方にご利用いただいております。また、自治会の小地域ネットワーク活動や各種団体活動でご利用いただいております。▼入札に関する業務があります。町が発注する工事・業務委託・修繕・物品購入など、管財防災担当で入札等を行います。▼防災・災害に関する業務があります。町では、町民の

皆様が安心して暮らしていくために、安全なまちづくりを目的とし、町内地域に関し、予防、応急及び復旧等の災害対策を実施する「陸別町地域防災計画」を策定しております。災害が発生した場合、この計画に基づき、速やかに対応していきます。▼交通安全に関する業務があります。町内の事業者や関係団体、自治会等で組織する陸別町交通安全協会の事務局を務めており、毎年7月には、交通安全住民の集いを開催し、啓発活動を行っております。また、交通安全指導員を委嘱し、街頭での交通安全指導も行っております。その他、チャイルドシートの購入助成制度(上限5千円・窓口陸別町交通安全協会)や、貸出制度(3台・短期間・窓口陸別町交通安全協会)がありますので、ぜひご利用下さい。▼陸別町は昨年12月18日で交通事故死0日数6千日を達成しました。これは、道内で西興部村に次ぐ第2番目の記録であり、現在も記録を更新しております。これも、関係団体や町民の皆様一人一人の協力がなくして達成できない記録であり、今後も交通事故防止につきまして、ご協力願います。

交通事故死0日数6,104日 (平成26年4月1日現在)

(担当 西川 勉、向井 啓、長屋 正史)

☎ 27-2141 内線216

SPORTS TOPICS

第20回 日産カップ 陸別「歩くスキーの集い」



登り坂でも余裕の滑りです



84名が心地よい汗を流す

3月9日 今回で第20回となる、日産カップ陸別「歩くスキーの集い」が、日産自動車 榊北海道陸別試験場内の特設コースで開催されました。

この日は、天候にも恵まれ、参加した84名は、コース内の自然を満喫しながら心地よい汗を流しました。

参加者最年長の天倉一人さん(89歳、芽室町)は、「風もなく、気持ちよく滑ることができました。また来年も参加します」と感想を話していました。

参加者は滑走終了後、温かい豚汁で昼食をとり、抽選会を楽しみました。



中間地点で一時休憩中

公民館新着情報

◇一般図書

穴：小山田 浩子
恋歌：朝井 まかて
昭和の犬：姫野 カオルコ
首折り男のための協奏曲：伊坂 幸太郎
カレイドスコープの箱庭：海堂 尊
神様の休日 く僕らはまためぐり逢う：岡本 貴也
小さな異邦人：連城 三紀彦
誰と一緒に寝れない「聴き方・話し方」のコツ：水島 広子

◇児童図書

サッカーが楽しくできる：日本サッカー協会
ドラえもん ワンワンだいたずかん：藤子・F・不二雄
セイウチぼうや：あべ 弘士
氷の巨人 コーリン：サカリアス・トペリウス
おにぎりになんじゃ：北村 裕花
ふなっしーのおはなっしー：ふなっしー
ペネロピぼういんへいく：アン・ゲットマンゲオルグ・ハレンスレーベン
列車戦隊 トッキユウジャー

◇CD

「シングル」
ヒカレ：ゆず
今、咲き誇る花たちよ：コブクロ
あなたの100の嫌いなところ：剛力 彩芽
前しか向かねえ：AKB48

◇DVD

初音ミク マジカルミライ
映画 謎解きはデイナーのあとで
怪盗グルーのミニオン危機一髪

※本の貸出期間は3冊2週間です。

スポーツ振興基金のご紹介

陸別町にはスポーツの振興を目的とした、「スポーツ振興基金」が設置されています。

この基金の運用益をもとにして、陸別町に在住する個人または団体のスポーツ活動を援助する制度がありますので、Q&Aのかたちでご紹介します。

Q：どんなときに助成してもらえるのですか？

A：これまでに助成したなかで、多いのは次の2つです。

- ①地区予選を勝ち抜いて、全道大会・全国大会に出場するとき。
 - ②スポーツ指導者講習会（審判講習も含む）を受けるとき。
- 他にもありますが、くわしい事は教育委員会におたずね下さい。

Q：どのくらい助成してくれるのですか？

A：おおまかに言うと、交通費・宿泊料・参加費・滞在費の実費額の、①大会出場は3分の2以内、②講習会は全額助成されます。詳しくは、町が定めた「助成基準」がありますので、お問い合わせ願います。

Q：申し込んだらすぐ助成してくれますか。

A：助成を受けるためには、事前に「スポーツ振興基金運用委員会」で審査・決定してもらう必要があります。まずは、お早めに教育委員会にご相談願います。

スポーツ振興基金については、教育委員会社会教育・社会体育担当（☎27-2123）におたずね下さい。

第31回町民ゲートボール大会

平成26年2月24日（月）開催

優勝 長屋チーム

準優勝 江下チーム

第3位 東原チーム

4チーム計23名参加。（4位教育委員会チーム）



写真は優勝した長屋チームのメンバーです。

上段左から、櫻井ヒロ子さん、我妻幸子さん、藤田治江さん、

下段左から、飯尾ノブエさん、長屋ハヤさん、五十嵐健男さん

| 対象加入者 | 対象となる事故の範囲 | 加入区分 | 掛金 (1人年額) | 傷害保険 | | | |
|----------------|------------------------------------|------|--------------|---------|--------------|---------------|---------------|
| | | | | 死亡 | 後遺障害 (最高) | 入院 (1日につき) | 通院 (1日につき) |
| 子ども (中学生以下) | 団体活動中とその往復中 | A1 | 800円 | 2,000万円 | 3,000万円 | 4,000円 | 1,500円 |
| | 団体活動中とその往復中 | AW | 1,450円 | 2,100万円 | 3,150万円 | 5,000円 | 2,000円 |
| | 団体活動中とその往復中 以外 | | | 100万円 | 150万円 | 1,000円 | 500円 |
| 大人 (高校生以上) | スポーツを行わない活動 (文化活動等) | A2 | 800円 | 2,000万円 | 3,000万円 | 4,000円 | 1,500円 |
| | 団体活動中とその往復中 | C | 1,850円 | 2,000万円 | 3,000万円 | 4,000円 | 1,500円 |
| | 子供のスポーツ活動の指導限定 | AC | 1,300円 | 1,000万円 | 1,500万円 | 2,500円 | 1,000円 |
| 大人 (65才以上) | 団体活動中とその往復中 | B | 1,000円 | 600万円 | 900万円 | 1,800円 | 1,000円 |
| 全年齢 | 危険度の高いスポーツ (山岳登山・アスルト・スカイスポーツ等) | D | 11,000円 | 500万円 | 750万円 | 1,800円 | 1,000円 |

※対象となる事故の範囲

- ・スポーツ活動中と自宅・会場間の往復中の事故。但し活動の場所が町外の場合、スポーツ活動とは大会や研修、練習試合等をさし、個人的な活動は該当しません。（子どものAW区分を除く）
- ・入院、通院保険金の支払は入院及び通院日数が1日以上から対象となり、それぞれ180日・90日を限度として保険金日額が支払われます。

※「AW」区分とは

- ・町内外での個人的なスポーツ活動（団体管理下以外）での事故も保険の対象となります。

- 補償期間 申込日の翌日または翌々日から平成27年3月31日まで。
- 加入方法 教育委員会社会体育担当まで掛金を持参の上お申し込みください。
- お問い合わせ 教育委員会 社会体育担当

☎ 27-2123

スポーツ安全保険

平成26年度分加入受付中

<4月>

陸別町の子育て支援情報

| 日 | 曜日 | 行 事 等 | 子育て支援関係 | 担 当 |
|----|----|-----------|--------------------------|----------|
| 1 | 火 | | 自由遊び（保健センター） | らっこクラブ |
| 2 | 水 | | | |
| 3 | 木 | | 紙芝居読み聞かせ（保健センター・親子ひろば） | 保健福祉センター |
| 4 | 金 | | | |
| 5 | 土 | | | |
| 6 | 日 | | | |
| 7 | 月 | 陸別保育所 入所式 | 自由遊び（保健センター） | らっこクラブ |
| 8 | 火 | 小・中学校入学式 | | |
| 9 | 水 | | | |
| 10 | 木 | | 紙芝居読み聞かせ（保健センター・親子ひろば） | 保健福祉センター |
| 11 | 金 | | | |
| 12 | 土 | | | |
| 13 | 日 | | | |
| 14 | 月 | | 自由遊び（保健センター） | らっこクラブ |
| 15 | 火 | | | |
| 16 | 水 | | | |
| 17 | 木 | | 妊婦乳幼児相談（保健センター 多目的室・研修室） | 保健福祉センター |
| 18 | 金 | 弁当休みの日 | | |
| 19 | 土 | | | |
| 20 | 日 | | | |
| 21 | 月 | | 自由遊び（保健センター） | らっこクラブ |
| 22 | 火 | | | |
| 23 | 水 | | | |
| 24 | 木 | | 紙芝居読み聞かせ（保健センター・親子ひろば） | 保健福祉センター |
| 25 | 金 | | | |
| 26 | 土 | | | |
| 27 | 日 | | | |
| 28 | 月 | | 自由遊び（保健センター） | らっこクラブ |
| 29 | 火 | ● 昭和の日 ● | | |
| 30 | 水 | | | |

※自由あそび（月曜日） ・親子リズムあそび（木曜日）は午前中の開催です。

【問合せ先】 ○保健福祉センター TEL27-8001 ○らっこクラブ（青木：090-6874-0817）

◇ 子育て支援センターから ◇

○乳幼児とその保護者が自由に利用することができる「子育て親子ひろば」を開設しています。

子どもたちの交流はもちろん、お父さん・お母さんの子育てで情報を得る機会に、是非ご利用ください。

- ・日 時 毎週 月～金曜日 午前9時30分から
- ・場 所 保健センター内（トレーニング室の隣）

ASHORO

足寄から

ネイパルあしよろ
春のこどもフェスティバル

春のこどもフェスティバルでは、工作や熱気球搭乗体験などたくさんの催し物が行われます。お友だち同士やご家族でぜひ遊びに来てください。

- ◇日 時 5月5日(月) 午前9時～午後3時
- ◇場 所 道立足寄少年自然の家（ネイパルあしよろ）
- ◇内 容 熱気球搭乗体験、塗り絵、木の実クラフト、おがカラー、積み木・おもちゃ、絵本の読み聞かせ、木の玉ボール、ヒップホップダンスなど
- ◇詳 細 道立足寄少年自然の家
☎25-6111

HONBETSU

本別から

義経の里本別公園の遊具
をご利用ください

義経の里本別公園内のポート・ゴーカート等の有料遊具が4月から運営を開始します。ご家族連れで、ぜひ本別公園に遊びに来てください。

- ◇期 間 4月19日(土)～10月13日(月)
- ◇運営日 土・日・月（ゴーカートのみ）・祝日
※その他の運営日はお問い合わせください
- ◇時 間 4月～6月 午前10時30分～午後4時30分
7月・8月 午前9時30分～午後4時30分
9月・10月 午前10時30分～午後3時30分
- ◇料 金
○ポート 200円/30分
○ゴーカート コース1周 200円/1人乗り
300円/2人乗り
- バッテリーカー 50円
- ◇詳 細 本別公園「義経の館」 ☎22-4441

健康コーナー 189

☆こころの元気に!

【担当】
保健福祉センター
保健師 工藤このみ

○こころの健康、大事にしていますか?

厚生労働省によると、労働者の約6割が強いストレスを抱えたまま仕事をしているといわれます。

いきいきと働き続けるためには、「心」と「体」の両方が健康でなければなりません。強いストレスが長期間に渡って続くと、うつ病などの病気にかかりやすくなります。“何となく気がでない”“気分が晴れない”等の状態が長く続いていたら心がSOSのサインを出しているのかもしれない。



○ストレスとは何か

個人にとって負担となる外部からの刺激や要因をストレス要因(ストレスラー)

と呼び、そのストレス要因が引き起こした心と体の反応をストレス反応と呼びます。大切な人の病气や死、離婚や失業など不幸な出来事はもちろんなこと、結婚、就職、昇進、新居の購入など、めでたいとされる出来事もストレスになることがあります。



○生活習慣病とストレス

ストレス解消のためのタバコや暴飲暴食、多量のアルコール摂取は、肥満や高血圧、糖尿病、脂質異常症、肝機能障害など生活習慣病をもたらす原因となります。


ストレスは、生活習慣に悪影響を与えるばかりでなく、健康面へ直接のダメージをあたるため、ストレスコントロールは心身の健康にとって大変重要です。

○自分にあったリラッククス方法を選ぼう

多くの人は、趣味などでストレスを自然と解消しています。しかし、ストレスが溜まってきているときほど忙しく、趣味などに時間を割くことが難しくなってしまう。簡単なストレス解消法をご紹介します。

春は入学や進学、異動や引っ越しなど何かと変化の多い季節です。ストレスを解消する工夫をしても、なかなか症状が軽くならない場合は、さらに症状が重くなる前に医療機関や専門の相談機関に相談することも必要です。

☆簡単☆ストレス解消法

| | |
|---------------|---|
| 運動 | 適度な運動は、ストレス解消と体力づくりに最適です。運動習慣がない人は、体に無理のかからないことから始めましょう☆ストレッチがオススメです。 |
| おしゃべり | 自分が抱えている問題について、しゃべる機会を持つと気持ちスッキリし、思考が整理されます。職場の仲間とのコミュニケーションを活発にすることで、適切な助言や支援も受けやすくなります。 |
| 音楽 | 車での移動中などでも楽しめます。歌ったり、踊ったりすることもオススメです。 |
| 動物とのふれあい | 動物とのふれあいはストレス軽減効果に加え、孤独感を癒すなど、心身に良い効果をもたらします。 |
| 半身浴 | お湯に30分程度つかって汗をかく半身浴は、自律神経を活性化し、心身をリラックスさせるのに最適です。同時に読書や音楽、アロマを楽しむのも良いでしょう。 |
| 自然を楽しむ 森林浴 | 庭でガーデニングを楽しんだり、土をいじったり、テーブルに切り花を飾ったりするだけでも、ストレス解消効果はあります。森林浴の際には熊にご注意を☆  |

☆心の健康に関する相談先☆

- 十勝保健福祉事務所(帯広保健所) ……0155-21-9110
(※心の相談専用ダイヤル)
- 北海道いのちの電話 ……011-231-4343
- 陸別町保健福祉センター保健指導担当 ……0156-27-8001

平成26年度
一種混合(DT)
予防接種のお知らせ

○対象 小学校6年生
○接種日 8月4日(月)・5日(火)・6日(水)

※3日間のうち、都合のいい日を選んで受診してください。

○受付

月・水曜日は午後診療、火曜日は夜間診療時間

○場所

陸別町国保児童診療所

○料金 無料

△DT予防接種とは…

・ジフテリア、破傷風の予防接種です。

・乳幼児に接種した三種混合予防接種の追加接種として行います。

・今回の接種をもって三種混合予防接種が完了します。

・受けるようにしましょう。

水道及び下水道料金 改定のお知らせ

平成26年4月1日消費税率が5%から8%に引き上げられます。これに伴い、水道及び下水道料金を次のように改定しますのでお知らせします。

平成26年4月1日以後に使用される分から新料金の対象となります。

なお、平成26年3月31日以前から継続使用している場合は4月の定例検針（1日～7日）後に使用される分から新料金の対象となります。

水道料金表

・簡易水道（市街、トマム地区）、営農用水道（上陸別・トラリ地区）、専用水道（小利別地区）

| 用途 | 基本（1ヶ月につき） | | 超過料金 （1m ³ につき） | 備考 |
|-------|----------------------|---------------|-------------------------------|--------------------------------|
| | 水量 | 料金 | | |
| 一般用 | 8m ³ まで | 1,820円 | 206円 | 営業用、事業用、団体用、 浴場営業用、臨時用以外の用途 |
| | | (1,770円) | (200円) | |
| 営業用 | 10m ³ まで | 2,418円 | 278円 | 料理店、飲食店及び娯楽場等 |
| | | (2,350円) | (270円) | |
| 事業用 | 20m ³ まで | 3,024円 | 62円 | 農業及び酪農業等 |
| | | (2,940円) | (60円) | |
| 団体用 | 50m ³ まで | 5,040円 | 113円 | 社会福祉事業等 |
| | | (4,900円) | (110円) | |
| 浴場営業用 | 100m ³ まで | 8,157円 | 83円 | 公衆浴場 |
| | | (7,930円) | (80円) | |
| 臨時用 | 1m ³ ごとに | | 329円 (320円) | 工事用、その他臨時的な使用 |

※上段が改定後の料金。下段（ ）が従前の料金。いずれも消費税相当額を含む料金です。

下水道料金表

| 用途 | 基本（1ヶ月につき） | | 超過料金 （1m ³ につき） | 備考 |
|-------|----------------------|---------------|-------------------------------|------------|
| | 水量 | 料金 | | |
| 一般用 | 8m ³ まで | 1,193円 | 133円 | 公衆浴場用以外の用途 |
| | | (1,160円) | (130円) | |
| 公衆浴場用 | 100m ³ まで | 5,658円 | 51円 | 公衆浴場 |
| | | (5,500円) | (50円) | |

※上段が改定後の料金。下段（ ）が従前の料金。いずれも消費税相当額を含む料金です。

※家庭での水道及び下水道のご使用は、用途が「一般用」になります。

お問い合わせは、陸別町役場 建設課 水道・下水道担当へ
（☎27-2141 内線223番）

職員人事異動（4月1日付け）

【町長部局】（ ）内は前職名

- 朝日大二▽町民課参事 池北三町行政事務組合派遣（町民課長）
- 早坂政志▽総務課長（保健福祉センター次長）
- 芳賀 均▽会計管理者兼町民課長（会計管理者）
- 高橋 豊▽建設課長（総務課長）
- 丹野景広▽保健福祉センター次長兼診療所事務長（保健福祉センター主幹）
- 阿部 博▽出納課主幹（出納課主任主査）
- 瀧口和雄▽町民課主幹（町民課主任主査）
- 庄野勝政▽保健福祉センター主幹（保健福祉センター主任主査）
- 首藤貴美子▽出納課主査（保健福祉センター主査）

【教育委員会事務局 出向】

- 石村恭美（保健福祉センター保育士）

退職（3月31日付）

- 小栗幹夫（建設課長）
- 横山孝枝（保健福祉センター臨時公務補）

新規採用職員



保健福祉センター
保育士
島田 沙織



保健福祉センター
技師補
堂上 拳吾



保健福祉センター
主事補
唐牛 美咲

農畜産物加工研修センター 平成26年度 試験圃利用者の募集

今年度も、特産品開発を目的とする試験栽培、加工原料の栽培、花卉栽培等を行う町内在住者に加工センターの試験圃の一部を開放します。

- ◇所在地 陸別町農畜産物加工研修センター敷地内の試験圃の一部
- ◇面積 6.5m×18m 117㎡（1区画）全6区画
- ◇使用料 1区画当たり 1月につき1,000円（別途 水道代がかかります。）
- ◇申込期限 平成26年4月18日（金）
応募者多数の場合は、協議のうえ調整します。
- ◇申込方法 電話にて受付（役場産業振興課）
☎27-2141 内線132

山菜採りにおける事故防止

例年、山菜の愛好家が行者ニンニクやタケノコ採りのために入山し、道に迷ったり、沢に転落する事故が起きています。慣れた山でも、油断すると「危険な落とし穴」があることを忘れないで山菜採りを楽しみましょう。

《事故を防ぐためのポイント》

- ◇一人では山菜採りに行かない
- ◇家族などに必ず行き先と帰る時間を知らせる
- ◇一緒に入った仲間と声を掛け合ったり、ラジオを鳴らすなどして絶えずお互いの位置を知らせ合う
- ◇自分がどこにいるのか常に確認する

本別警察署・陸別駐在所

【その他手続き】

- ・住所、世帯主、氏名が変わったとき
- ・保険証を汚損または紛失したとき
- ・退職者医療制度の対象となったとき

※届出が遅れると・・・

国民健康保険税を資格が発生した日までさかのぼって納めることになりますし、条例に基づき過料が発生する場合があります。

また、届出前にかかった医療費は、やむを得ない場合を除き、全額自己負担となります。

□お問い合わせ

役場町民課国保・衛生担当
☎27-2141内線114

【資格取得】

- ・他の市町村から転入したとき
- ・職場の健康保険をやめたとき（退職したとき）
- ・職場の健康保険の任意継続をやめたとき
- ・世帯員が増えたとき（結婚、出生、同居など）
- ・生活保護を受けなくなったとき

【資格喪失】

- ・陸別町から転出するとき
- ・職場の健康保険に加入するとき（被扶養者となったとき）
- ・死亡したとき
- ・生活保護を受けるようになったとき
（注）75歳到達により、後期高齢者医療制度の対象となったときは届出不要。

国民健康保険の資格を取得または喪失したときは、「世帯主が14日以内に役場に届出ること」が必要です。

国民健康保険からのお知らせ

銀河の森コテージ村からのお知らせ

〈3月24日現在コテージ予約状況〉

※予約は既にうまっている場合があります。最新の予約状況は直接コテージ村管理棟へご確認ください。

○余裕あります ●満室です △予約が入ってます ※予約はお早めにコテージ村管理棟へ(TEL27-4040 FAX27-4041)

| 4月 | コテージ 予約状況 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 |
|----|--------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| | 6人用 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | △ | △ |
| | 10人用 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 5月 | コテージ 予約状況 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|--------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| | 6人用 | ○ | ○ | ● | ● | △ | ○ | ○ | △ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | ○ |
| | 10人用 | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

町民のうき

| | | | |
|------------------------------|---------------------------|------|-----------|
| 山田 光輝 <small>みつあき</small> くん | 宗平 <small>むねひら</small> さん | 3・24 | 共栄第2 |
| 関 正夫 <small>せいの</small> さん | 加奈美 <small>かなみ</small> さん | 89歳 | 3・3 中斗満第1 |
| 小松 武雄 <small>たけお</small> さん | | 94歳 | 3・4 緑町 |
| 武藤 信 <small>のぶ</small> さん | | 68歳 | 3・12 共栄第1 |
| 水津 栄 <small>さか</small> さん | | 74歳 | 3・13 新町1区 |
| 東原 行雄 <small>ゆきお</small> さん | | 93歳 | 3・14 中陸別 |
| 菊川 貞夫 <small>さだお</small> さん | | 71歳 | 3・27 栄町 |
| 堀江 満支 <small>みち</small> さん | | 73歳 | 3・29 栄町 |

「」厚意

「」寄付ありがと「」寄付
 社会福祉協議会
 ボランティアセンター
 (愛情銀行)への寄付
 □陸別カラオケクラブか
 ら社会福祉協議会に3
 万円が寄付されました。

運転免許更新時講習日程

| 月 | 会場名 | 種類 | 日 | 曜日 | 時刻 | 月 | 会場名 | 種類 | 日 | 曜日 | 時刻 |
|---|----------|----|----|----|-------|---|----------|----|----|----|-------|
| 4 | 本別中央公民館 | 一般 | 2 | 水 | 10:00 | 5 | 本別中央公民館 | 一般 | 7 | 水 | 10:00 |
| | | 優良 | 2 | 水 | 11:30 | | | 優良 | 7 | 水 | 11:30 |
| | | 違反 | 16 | 水 | 10:00 | | | 初回 | 7 | 水 | 13:00 |
| | | 違反 | 16 | 水 | 10:00 | | | 違反 | 21 | 水 | 10:00 |
| 月 | 足寄町民センター | 優良 | 17 | 木 | 14:00 | 月 | 足寄町民センター | 優良 | 15 | 木 | 14:00 |
| | | 一般 | 17 | 木 | 15:00 | | | 一般 | 15 | 木 | 15:00 |

※本別警察署で更新手続きを済ませてから受講して下さい。

町の人口・世帯数 26.2.28

| | |
|-----|------------|
| 人口 | 2,597人(-4) |
| 男 | 1,283人(-5) |
| 女 | 1,314人(+1) |
| 世帯数 | 1,341戸(-4) |

友好町民の会 290人 (前年同月比 +19人)

ホームページアドレス
<http://www.town.rikubetsu.hokkaido.jp/>



□2月27日 陸別ふるさと
 陶趣会(石橋富士男会長)
 が、この春に陸別中学校
 を卒業する15名の卒業記
 念として特製のペン立て
 を寄贈しました。